

答え合わせ・解説

問1	答え 4 頭	「頭が固い」の「頭」の部分が入ります。意味は「考えが凝り固まっていて、融通がきかない」です。
問2	答え 2 その美しい絵画に、すっかり心を奪われた。	「心を奪われる」の正しい使い方は「その美しい絵画に、すっかり心を奪われた。」です。意味は「あるものに強くひきつけられ、夢中になる」です。
問3	答え 4 鵜	「鵜呑みにする」の「鵜」の部分が入ります。意味は「物事の真偽を確かめずに、そのまま受け入れる」です。
問4	答え 4 手伝ってもらう	「手を借りる」は「手伝ってもらう」という意味です。
問5	答え 3 強敵を倒して、ついに鼻を明かした。	「鼻を明かす」の正しい使い方は「強敵を倒して、ついに鼻を明かした。」です。意味は「相手を出し抜いて、あつと言わせる」です。
問6	答え 3 どちらも優れていて優劣を決めにくい	「甲乙つけがたい」は「どちらも優れていて優劣を決めにくい」という意味です。
問7	答え 1 肩身	「肩身が狭い」の「肩身」の部分が入ります。意味は「世間に対して面目が立たず、引け目を感じる」です。
問8	答え 4 石	「石の上にも三年」の「石」の部分が入ります。意味は「つらくても辛抱強く続ければ必ず報われること」です。
問9	答え 4 身	「身を粉にする」の「身」の部分が入ります。意味は「ある物事のために、苦労をいとわず懸命に働く」です。
問10	答え 1 取り越し	「取り越し苦労」の「取り越し」の部分が入ります。意味は「まだ起こっていないことに対してあれこれと心配すること」です。
問11	答え 2 胸	「胸が騒ぐ」の「胸」の部分が入ります。意味は「悪い予感がして落ち着かない」です。
問12	答え 1 その美しい音楽は、私の琴線に触れた。	「琴線に触れる」の正しい使い方は「その美しい音楽は、私の琴線に触れた。」です。意味は「良いものや感動的なものに触れて心が動かされる」です。
問13	答え 3 強豪校との試合では、全く歯が立たなかった。	「歯が立たない」の正しい使い方は「強豪校との試合では、全く歯が立たなかった。」です。意味は「相手の力が強すぎて、かなわない」です。
問14	答え 2 耳	「耳に入れる」の「耳」の部分が入ります。意味は「情報を聞いたり、知らせたりする」です。
問15	答え 2 下馬	「下馬評」の「下馬」の部分が入ります。意味は「世間一般の人々による評判や批評」です。
問16	答え 1 困っている友人を無視するなんて、血も涙もない。	「血も涙もない」の正しい使い方は「困っている友人を無視するなんて、血も涙もない。」です。意味は「思いやりや情け心が全くなく冷酷である」です。
問17	答え 3 一	「一か八か」の「一」の部分が入ります。意味は「結果がどうなるか分からないが、運を天に任せてやってみること」です。
問18	答え 2 邪魔でうっとうしい存在のこと	「目の上のたんこぶ」は「邪魔でうっとうしい存在のこと」という意味です。